



製作考案：
西陣織染織図案家 松尾京敏
(高次脳機能障害のある方)



京都市
CITY OF KYOTO

発行 京都市高次脳機能障害者支援センター
(京都市地域リハビリテーション推進センター相談課内)
平成30年1月発行 京都市印刷物 第294936号

まわりに脳梗塞や脳出血などの脳の病気になられた方、事故などで頭を強く打った方はおられませんか？以前できていたことがスムーズにできない……。もしかすると、高次脳機能障害かもしれません！

1分でわかる！ 誰にでも起こりうる高次脳機能障害

何が原因で高次脳機能障害になるの？



➡ 脳梗塞や脳内出血などの脳血管障害、交通事故や転落事故による脳外傷、また水に溺れたり心臓発作などで脳に酸素や血液が供給されずにおこる低酸素脳症、脳腫瘍や脳炎などで生じます。

ある日突然の脳損傷によって、誰にでも起こりうる可能性があります。医療技術の発展で救命率は向上しましたが、その一方で脳損傷による後遺症を持つ方が増えています。

どんな症状なの？

➡ 脳は場所によりおおまかにその役割が決まっています。損傷した場所や程度により、生じる症状は様々です。

- 新しいことを覚えられない、同じことを何度も聞くなどの記憶障害
- ぼんやりして集中できない、複数のことを同時に行えないなどの注意障害
- 物事の段取りができない、指示がないと行動しにくいなどの遂行機能障害
- 感情や行動の調整が難しい、何事にも意欲がわからないなどの社会的行動障害
- 言葉が出にくい、人の話が理解できない、計算ができないなどの失語症などがあります。

もしかして？と思われたら……

主治医やお住まいの地域の高次脳機能障害支援拠点（京都市内は京都市高次脳機能障害者支援センター）にご相談ください。

病院のリハビリが終わると、もう、よくなるの？

➡ いいえ、病院のリハビリが終わってからも、数年あるいは十年単位で改善が見込めます。福祉や介護サービスなどの訓練、規則正しい生活、家庭や社会での適度な役割、社会参加が脳の働きを良くします。また注意や記憶を補う工夫を取り入れ、周りの環境を整えることで、できることは増えてきます。

発達障害や認知症とよく似ているけど、違うの？

➡ 症状だけを見ると共通するものがありますが、病状の経過や支援の方法が異なるため、国の示す診断基準では、これらは高次脳機能障害に含まれていません。

【問合せ先】京都市内にお住まいの高次脳機能障害や

その疑いのある方及びそのご家族、支援者の方は

京都市高次脳機能障害者支援センターへ

☎（075）823-1658

ファックス（075）842-1541

【受付時間】月曜日～金曜日（祝日・年末年始除く）

午前8時半～正午及び午後1時～午後4時